2017 年 6 月 9 日
大会事務局

公式通知 No.10
全日本エントラント宛

下記の通り、ライダーズブリーフィング資料を公示する。

2017MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第 4 戦
JSB1000 クラス ブリーフィング資料

1. コースイン、ピットイン時の注意事項

1）コースインの際は確実に後方を確認し、2コーナー立ち上がりまでコース右端を走行し、後続車の妨げにならないように注意してください。

2）ピットインの際はヘアピン立ち上がりより、走行ラインをコース右端に取り、早めに手を挙げるなど合図をして後続に十分アピールを行いピットインしてください。

3）ピットレーンの制限速度は 60km/h です。ピットレーンの安全確保のため遵守してください。

4）ピットレーンへの整列

①（予選時）

次の予選に出走するために自ピットを離れてファストレーンに整列する場合は、2 分前ボードが提示された後とします。

第2パドック待機の方は、走行前・走行中は **1 番ピット横または45番ピット横ゲートからのみ**ピットレーンへの進入が可能です。

②（ウォームアップ走行時）

前の走行のチェッカーが提示された後とします。ピットレーンでは走行が終了した車両と交錯する可能性がありますので、ピットインする車両及びピットレーンに整列する車両ともに接触事故等がないように注意してください。

③（注意事項）

第2パドック待機の方は、走行前・走行中は **1 番ピット横または45番ピット横ゲートからのみ**ピットレーンへの進入が可能です。

また、予選／ウォームアップ走行等出走前にファストレーンで待機する場合は、ライダーが乗車しすぐに出走できる体勢でいてください。スタンドを掛たり、タイヤウォーマーを装着することは禁止します。

5）第2パドック待機の方は、チェッカー後ピットレーンを通過して第2パドックゲートより直接第2パドックへ出て頂けます。

2. 走行時及びピット作業時の注意事項

1）**スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行し、この際に各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して追突等がないように周囲に注意し走行してください。**

2）スタート練習場所は以下の通りとします。スタート練習を行うときは後方の安全を十分確認して行ってください。

・ピットレーン出口（予選中はいつでも練習可能）　・チェッカー旗を受けた後のヘアピンカーブ立ち上がり右側

3）**西コース短絡路、東コース短絡路の双方とも走行禁止です。**

4）コーションシグナルは、あくまでも、フラッグの補助です。黄旗の制限区間は、黄旗提示ポスト～緑旗提示ポストの間です。

5）ピットでの燃料給油作業時は、消防法に合致した携行缶の利用および消火器の待機をお願いいたします。

3. 公式予選

1）特別規則書に記載の通り、**TOP10 サバイバル方式**となります。

2）西コース短絡路、東コース短絡路の使用は2項3）の通り、予選中も使用禁止です。

3）**Q3に出走した全車両は、セッション終了後の再車検対象車両とします。**

4）**ポールポジションを得た車両は、ピットインせずそのままメインストレートコントロールライン付近までお越しください。ポールポジションインタビュー等をその場で行いますので、チームクルーの方にはスタンドを持ってコントロールラインまでお越しいただくようお願いします。**

5）予選中に車両トラブル等によりコース上で停止した車両はサービスロードを利用してレッカー車で回収します。回収した車両は車検場脇の車両保管場所でピットクルーに引き渡します。

6）上記のレッカー車で回収した車両はピットで修復後に予選への復帰が可能です。

7）**車両回収の順番、時間等に関する抗議は一切受け付けません。**

8）**予選中のピットレーン<->第1パドック、第2パドックへの移動は禁止します。**
予選中にパドックへ移動した場合は、以降予選への出走は認められません。

4. スタート方法について

1）**サイティングラップは、ピットレーンを通過する限り、ピットレーン出口が開放されている5分間、何周でも行なうことができます。**

2）グリッド上にジェネレータ・バッテリー等の電源を持ち込み、タイヤウォーマーを使用することを許可します。タイヤウォーマー以外への電源供給は認められません。すべての電源は常に移動可能な状態で使用してください。
また、ジェネレータ及びエンジンスターターからのオイル等の漏れがある、燃料タンクが消防法に合致した金属製タンクでないなどの不備があるものはオフィシャルの指示に従い、速やかにグリッド上から撤去をお願いいたします。
ウォームアップラップ3分前ボード提示以降、発電機は速やかにピットへ移動させてください。

3）雨天時以外はグリッドでヘルメットを脱ぐようにお願いします。

4）ウォームアップラップ開始1分前でエンジンを始動し、エンジン始動後グリッドへ押し戻してください。

5）**ウォームアップラップは、フラッグタワーでの緑旗の合図でスタートとします。**フラッグタワーでの緑旗の合図が出たら、グリッド1列目から順次スタートしてください。スタートする際は、前車に追突しないように注意をお願いします。**なお、ウォームアップラップ開始時のピットレーン出口のシグナルは、グリッドからスタートする最後尾車両がコントロールラインを通過した後グリーンになります。その20秒後、再びシグナルが赤になった時点で、ピットレーンからのウォームアップラップへの出走は認められません。**

6）ウォームアップラップ時に各コーナーポストで緑旗が提示されるので、コーナーポストの提示位置を確認してください。

7）ウォームアップラップから戻ってきたら、**各グリッドラインの手前にフロントホイールの先端を**あわせてください。

8）赤のランプが点灯してから消灯するまでの間に前進したら JumpStart と判定します。
（一旦動いて止まっても有利不利に関わらず JumpStart と判定します。）

9）JumpStart のペナルティーは STOP＆GO ペナルティーあるいは競技結果への 30 秒加算とします。また、ピットへのペナルティーの通告はピットレーン出口で当該ライダーのゼッケンを提示することとします。

10）STOP＆GO ペナルティーの STOP ボードの提示は、コントロールラインと 8 番ポストの2箇所で提示します。

11）STOP＆GO ペナルティーのペナルティーストップエリアは、ピットレーン出口右側の白線枠内とします。

5. セーフティーカーの運用について

1）決勝レーススタート直後の一周目は17番ポスト横のピットロード（東ピットロード）からセーフティーカーが介入します。

2）上記以外の場合は、コントロールタワー前のピットロードより介入します。

3）**競技再開時は、コントロールラインを通過するまでは、追い越し禁止です。**

6. 決勝レース赤旗中断の再開について

1）サイティングラップのピットレーン出口が開いている時間は**30秒間**です。

2）サイティングラップに出走した全ライダーがグリッドに到着したら、ウォームアップラップ開始**30秒前**ボードを提示します。

3）**サイティングラップに出走できなかったライダーは手押しでグリッドにつくことはできません。**

4）ウォームアップラップ開始30秒前ボードが提示された段階でエンジンが停止している車両はグリッドから排除します。
それ以降の手順は、最初のスタート時の手順と同一です。

5）再スタート時は、グリッドへのピットクルーの立ち入りは禁止です。

7. 暫定表彰式について

1）表彰対象車両は、メインストレート上車両保管場所にて車両保管します。

2）上記以外の車両は、車検場横パークフェルメにて車両保管します。

3）表彰式は、スーパースピードウェイ上ポーディウムにて行います。チーム関係者は、15 番ピット前ゲートからコースを横断して表彰式会場に向かうことが可能です。

2017MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第 4 戦
J-GP2 / J-GP3 / ST600 ブリーフィング資料

1. コースイン、ピットイン時の注意事項

1)コースインの際は確実に後方を確認し、2コーナー立ち上がりまでコース右端を走行し、後続車の妨げにならないように注意してください。

2)ピットインの際はヘアピン立ち上がりより、走行ラインをコース右端に取り、早めに手を挙げるなど合図をして後続に十分アピールを行いピットインしてください。

3)ピットレーンの制限速度は 60km/h です。ピットレーンの安全確保のため遵守してください。

4)ピットレーンへの整列

①(予選時)

次の予選に出走するために自ピットを離れてファストレーンに整列する場合は、2 分前ボードが提示された後とします。

②(ウォームアップ走行時)

前の走行のチェッカーが提示された後とします。ピットレーンでは走行が終了した車両と交錯する可能性がありますので、ピットインする車両及びピットレーンに整列する車両ともに接触事故等がないように注意してください。

③(注意事項)

第2パドック待機の方は、走行前・走行中は **1 番ピット横または45番ピット横ゲートからのみ**ピットレーンへの進入が可能です。

また、予選/ウォームアップ走行等出走前にファストレーンで待機する場合は、ライダーが乗車しすぐに出走できる体勢でいてください。スタンドを掛たり、タイヤウォーマーを装着することは禁止します。

5)第2パドック待機の方は、チェッカー後ピットレーンを通過して第2パドックゲートより直接第2パドックへ出て頂けます。

2. 走行時及びピット作業時の注意事項

1)**スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行し、この際に各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して追突等がないように周囲に注意し走行してください。**

2)スタート練習場所は以下の通りとします。スタート練習を行うときは後方の安全を十分確認して行ってください。

・**ピットレーン出口(予選中はいつでも練習可能)**　　・**チェッカー旗を受けた後のヘアピンカーブ立ち上がり右側**

3)**西コース短絡路、東コース短絡路の双方とも走行禁止です。**

4)コーションシグナルは、あくまでも、フラッグの補助です。黄旗の制限区間は、黄旗提示ポスト～緑旗提示ポストの間です。

5)ピットでの燃料給油作業時は、消防法に合致した携行缶の利用および消火器の待機をお願いいたします。

3. 公式予選

1)予選中に車両トラブル等によりコース上で停止した車両はサービスロードを利用してレッカー車で回収します。回収した車両は車検場脇の車両保管場所でピットクルーに引き渡します。

2)上記のレッカー車で回収した車両はピットで修復後に予選への復帰が可能です。

3)**車両回収の順番、時間等に関する抗議は一切受け付けません。**

4)**予選中のピットレーン<->第1パドック、第2パドックへの移動は禁止します。**
予選中にパドックへ移動した場合は、以降予選への出走は認められません。

4. スタート方法について

1)**サイティングラップは、ピットレーンを通過する限り、ピットレーン出口が開放されている5分間、何周でも行なうことができます。**

2)グリッド上にジェネレータ・バッテリー等の電源を持ち込み、タイヤウォーマーを使用することを許可します。タイヤウォーマー以外への電源供給は認められません。すべての電源は常に移動可能な状態で使用してください。
また、ジェネレータ及びエンジンスターターからのオイル等の漏れがある、燃料タンクが消防法に合致した金属製タンクでないなどの不備があるものはオフィシャルの指示に従い、速やかにグリッド上から撤去をお願いいたします。
ウォームアップラップ3分前ボード提示以降、発電機は速やかにピットへ移動させてください。

3)雨天時以外はグリッドでヘルメットは脱ぐようにお願いします。

4)ウォームアップラップ開始1分前でエンジンを始動し、エンジン始動後グリッドへ押し戻してください。

5)**ウォームアップラップは、フラッグタワーでの緑旗の合図でスタートとします。**フラッグタワーでの緑旗の合図が出たら、グリッド1列目から順次スタートしてください。スタートする際は、前車に追突しないように注意をお願いします。**なお、ウォームアップラップ開始時のピットレーン出口のシグナルは、グリッドからスタートする最後尾車両がコントロールラインを通過した後グリーンになります。その20秒後、再びシグナルが赤になった時点で、ピットレーンからのウォームアップラップへの出走は認められません。**

6)ウォームアップラップ時に各コーナーポストで緑旗が提示されるので、コーナーポストの提示位置を確認してください。

7)ウォームアップラップから戻ってきたら、**各グリッドラインの手前にフロントホイールの先端を**あわせてください。

8）赤のランプが点灯してから消灯するまでの間に前進したら JumpStart と判定します。
（一旦動いて止まっても有利不利に関わらず JumpStart と判定します。）
9）JumpStart のペナルティーは STOP＆GO ペナルティーあるいは競技結果への 30 秒加算とします。また、ピットへのペナルティーの通告はピットレーン出口で当該ライダーのゼッケンを提示することとします。
10）STOP＆GO ペナルティーの STOP ボードの提示は、コントロールラインと 8 番ポストの2箇所で提示します。
11）STOP＆GO ペナルティーのペナルティーストップエリアは、ピットレーン出口右側の白線枠内とします。

5. 決勝レース赤旗中断の再開について

1）サイティングラップのピットレーン出口が開いている時間は**30秒間**です。
2）サイティングラップに出走した全ライダーがグリッドに到着したら、ウォームアップラップ開始**30秒前**ボードを提示します。
3）**サイティングラップに出走できなかったライダーは手押しでグリッドにつくことはできません。**
4）ウォームアップラップ開始30秒前ボードが提示された段階でエンジンが停止している車両はグリッドから排除します。
それ以降の手順は、最初のスタート時の手順と同一です。
5）再スタート時は、グリッドへのピットクルーの立ち入りは禁止です。

6. 暫定表彰式について

1）表彰対象車両は、メインストレート上車両保管場所にて車両保管します。
2）上記以外の車両は、車検場横パークフェルメにて車両保管します。
3）表彰式は、スーパースピードウェイ上ポーディウムにて行います。チーム関係者は、15 番ピット前ゲートからコースを横断して表彰式会場に向かうことが可能です。

以　上